

もののれ〜る 38号



平成 25 年 7 月 25 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

新しいのぼり旗を作りました



武蔵村山市の住宅街の中に咲く満開のひまわり。
新しく作ったモノレール延伸 PR のぼりが、「ひまわりガーデン武蔵村山」を飾ります。

夏! ならではの観光地をモノレールに乗って見に行こう!

開園日 **7月27日(土)** ~ 8月中旬

開園時間 9時~17時 入場無料

● 駐車場は有料です。ぜひモノレールとバスで!



モノレールの駅から「ひまわりガーデン武蔵村山」の行き方

- 「上北台」駅から MM シャトル(上北台ルート・日中時)で「学園」(約5分)で下車して目の前。
- 「上北台」駅から徒歩 10分
- 「玉川上水」駅から MM シャトル(玉川上水ルート・日中時)で「学園」(約17分)で、下車して目の前。



モノちゃんとバスくんはおともだち



延伸に向けた主な課題を考える **2** 連載

多摩都市モノレール延伸に向けた課題として

- 1 多摩都市モノレール株式会社の経営の安定化
- 2 延伸区間沿道の土地区画整理事業やまちづくりの推進
- 3 新青梅街道拡幅整備事業との関係 が考えられます。

38号では、「2 延伸区間沿道の土地区画整理事業やまちづくりの推進」について考えます。



「まちづくり」って何をすることなんだろう？

「まちづくり」とは・・・どのようなまちにしたいかを考えて、道路・公園などの都市基盤整備を進めたり、土地の利用の基本的な方針を決める（用途地域の決定等）ことなどを言います。



市では、「武蔵村山市まちづくり基本方針」（都市計画マスタープラン）に基づき、まちづくりを進めています。

モノレールの延伸に必要な導入空間となる新青梅街道沿道についても、まちづくりを進めることによって、宅地開発が進むとともに、商業・業務施設等の進出も図られます。

これにより、通勤通学や施設利用の人たちが増え、将来の多摩都市モノレール利用者の増加が見込まれます。（課題1の多摩都市モノレール株の経営の安定化の解決にもつながります。）

現在、市で進めているまちづくりは・・・。

—都市核地区土地区画整理事業—

本町・榎地区では、土地区画整理事業を進めてお

り、モノレール延伸時には、駅前広場としても使用できる空間や周辺の道路等、モノレールの駅の周辺にふさわしい基盤整備を進めています。

—新青梅街道沿道のまちづくり検討協議会—

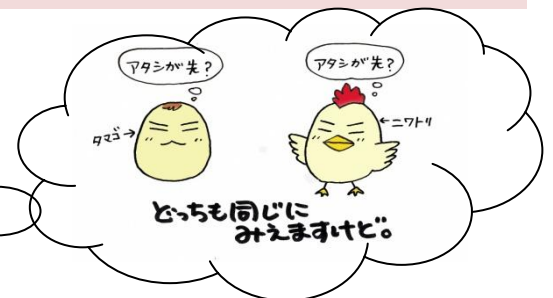
新青梅街道の拡幅にあわせ、沿道地区の高度利用を図るための検討をしています。

将来的には、住宅をはじめ企業の誘致や新たな集客施設の進出等、モノレールの沿線にふさわしいまちづくりを進めていく計画です。

こうした計画的なまちづくりを進めていくことで、まちは発展していきます。発展し活力のあるまちになることが、モノレールの延伸を実現させるためには必要です。

まちが発展していればモノレールが来る・・・？

モノレールが来れば、まちが発展する・・・？



他の課題については、また次号で。

延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い！多摩都市モノレール延伸！！」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。